

2021 年度総合法政専攻修士課程入学試験実施方法について

2020 年 6 月 11 日

東京大学大学院法学政治学研究科

今般の新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度実施の修士課程入学試験については従来通りの方法で選抜を行うことが困難な状況です。このため、すでに配布を開始している「令和 3（2021）年度東京大学大学院法学政治学研究科 総合法政専攻修士課程学生募集要項」（以下、「募集要項」とします）に記載した方法に、以下のような変更を加えた上で、入学試験を実施することにいたしました。

A 選抜、C 選抜、D 選抜については、まず書類審査を行い、書類審査合格者を対象にオンライン方式の口述試験を実施します。審査に用いるための書類についても変更がありますので、詳細は「総合法政専攻修士課程学生募集要項の変更点について」を参照して下さい。

B 選抜については後日のアナウンスとします。現時点では、スケジュールに関する限り、大きな変更は予定していません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、予定していた選抜手続の実施が困難になる場合もあり得ます。選抜手続について変更が必要になった場合にはホームページに情報を掲載しますので、随時確認するようにして下さい。

<http://www.j.u-tokyo.ac.jp/admission/graduate/master/>

ご質問がある場合には、

[jin\[at\]j.u-tokyo.ac.jp](mailto:jin[at]j.u-tokyo.ac.jp)（[at]を@に置き換えてください）

にメールでお送り下さい。重要な質問については、ホームページに回答を掲載します。

なお、個別のご質問に全て回答できるとは限りませんので、ご了承下さい。

以上